

藤田夕咲 あき 詩人、歌人。明治十九年二月十一日岐阜縣生れ、昭和二十三年四月二十六日歿（二八六—一九〇）。本名有作。別號寂々亭、氷草、蠅亭、櫻郁亭、高山樵夫等。明治四十一年早稻田大學文學部英文學部英文科卒。在學中雜誌『文庫』、『早稻田文學』等、詩を發表し早稻田詩社に参加。次で『人見東明』、『富村業』、加藤介春等と自由詩社と結成。卒業後讀賣新聞社に入り大正二年退社。翌年歸郷して家業に従事。傍ら山百合詩社を興し、郷土研究、歌作などに努めた。

著書、『詩集』、『春のゆめ』（明治四十五年二月一日自刊、文星堂）、山根秋伴作『清磨』（合著、大正六年七月一日國粹社「蠅蠅叢書」）、『山都年中行事』（昭和十一年八月十日岐阜・飛騨考古学俗學會）、『諸國民謡精査』（合著・白鳥省吾編、昭和十一年八月十八日東宛書房）、歌集『山づと』（昭和十八年五月二十日岐阜・山百合詩社）等。